



天気も良く、カメラをさげて散歩に出かけました。今日はチョット雰囲気を変えてのコース取りです。20分ほどの所に「小田原厚木道路」のサービスエリアがあり、地元の我々は出入りが自由です。コーヒーを飲み、土産物に目をやり、一休みの後、帰路につきました。

途中、われわれの菜園を右手に見ながら、掘り起こされ、間もない畑に目をやると、いました、いました「タゲリ」です。それも、三羽です。食餌中でした。

確認した三羽が集まっていればよかったのですが、てんでの食餌で集合写真は撮れませんでした。おどして飛び去ることのないよう、慎重に歩を進め、踊る心を抑えながら、深呼吸一番、シャッターを切りました。

「タゲリ」の特徴の長く伸びた「冠羽」(かんう)も鮮明です。加えて、次の写真にあるように、日差しに照らされ輝く羽もカメラに納まりました。実にラッキーでした。

幸せな気持ちは夜の晩酌まで続き、つつい饒舌になってしまいました。

近くの川で「カワセミ」に出会い、今日はいいい日だと口にする気持ち、わかるな・・・



カメラに納めた付近です。我々の菜園からの様子と、茂みの南、掘り起こされた畑が幸せをもたらした舞台です。

警戒心の強い鳥と云われますが、こんなに無防備な場所での食餌です。

“野鳥”のページでも紹介しましたが、地面の虫、土の中のミミズなどを食べます。時には、地面を足でけり、虫を追い出し食べたりするようです。湿田ではドジョウやカエルも餌になります。

渡り鳥で、日本には11月末ごろ飛来し、2月中には大陸のシベリアに渡ります。関東以西に多く飛来し、本州中部での繁殖例もあるそうです。

大きさはハト位、泣き声が「ミュー」と猫のような声と聴きます。

恋人に会うような気持ちで散歩に出ますが、再会はお預け、気を持たせてくれています。

我々の住んでいる地域、「野鳥の宝庫」と云われます。実感する毎日を過ごしています。